

# 東京教区時報

第1072号  
2008年3月23日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nskk.org](mailto:comm.tko@nskk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇3月の代禱・信施奉献先  
▽聖公会生野センターのため  
(3月1日に近い主日)▽教区青年活動のため▽いのちの電話の働きのため▽エルサレム教区のため(受苦日3月21日)▽キッドスクール(幼稚園)のため

## ◆とこしえの平安

2月24日 田實 相子(99) 聖アンデレ  
2月26日 樋田 元子(68) 聖愛  
3月9日 津田 誠三(80) 聖ヨハネ  
3月9日 飯田 隆(78) 聖マーガレット

▽日韓の歴史を学ぶ会(第37回)講演会 関東三教区生野委

## 今週・来週の予定

3月23日~4月5日

- 23(日) 復活日
- 24(月) 財政委員会  
HP小委員会
- 25(火) 銀座朝祷会  
聖職養成委員会
- 26(水) 多摩G牧師協議会  
(八王子)
- 27(木) 信仰と生活委員会
- 29(土) 第106教区会  
(主教座・聖アンデレホール)
- 30(日) 復活節第2主日  
城南G教会協議会  
(聖マリア)  
下町G教会協議会  
(茨十字)
- 4月
- 2(水) 教区フェスティバル  
実行委員会
- 3(木) 教区企画室
- 4(金) IT活用特別委員会

員会主催「わたしは貝になりたい」朝鮮人戦犯の場合」、講師・内海愛子(早稲田大学大学院講師・恵泉女学園大学名誉教授)。4月13日(日)15時、牛込聖公会聖バルナバ教会ⅡⅢ03(3268)8067。整理券6百円(前売り5百円)。  
▽オーガニスト研修会「新しい聖歌に戸惑っていません

か?」弾きにくい曲を易しく楽しく伴奏するコツ」教区礼拝音楽委員会主催で4月19日(土)13時~17時、練馬聖ガブリエル教会で。会費8百円。各教会・礼拝堂単位で参加申込み受付中。締め切り4月13日。照会は清瀬聖母教会宛Ⅱ宮崎光司祭・Ⅲ042(493)7472。

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

イエス・キリストが復活した、と文字によって伝えてくれた最初の人は、パウロです。私たちの良く知っている、福音書に物語られている、墓を訪ねた女性たちや、エマオに向っていた二人の弟子たちや、ガリラヤの岸辺の出来事

メッセージを、何とかイラスト入りの証言の形に表わせないと、様々な伝承を結び合わせたのが、私たちの心に刻みつけられた、あの、復活の情景でしょう。  
パウロが伝えてくれたもうひとつの大切なことは、イエス・キリストが復活されたのは、「私たちが、いつも主と共に生きるようになるため」だったということです。イエス・キリストは、あらゆる人間的弱さや危うさを持ちながら、ともかくイエスに従って生きた人々の所に復活されたその姿を現わしました。

## 共に居る イエス・キリスト



主教 植田 仁太郎

「みんな復活されたイエスを伝えていくことは間違いないところですが、それらはパウロの同時代の教会の人々や、さらに後代の人々が、様々な言い伝えの中から、掘り起こした物語です。  
パウロが「これは大切なことだ」「これを忘れてもらったら信仰が信仰でなくなる」とくり返し記した、「イエスは死んで復活された」(テサロニケの信徒への手紙I4・14)という教会の最も中心的な

また生前のイエスを知らないまま、それでもイエスに従ったパウロにも、現われませんでした。それから、ずっと、同じようにイエスに従う人々、そして私たち、と共に居てくださいます。その喜びがみなさまにありませう。  
(東京教区主教)

## 週末に「春の教区会」

すでに公示されている通り、第106(定期)教区会は3月29日(土)9時〜17時、主教座聖堂・聖アンデレホールで開催される。召集者植田仁太郎教区主教、教役者議員Ⅱ聖職39人、聖職候補生・伝道師7人、および信徒代議員71人、他に諸委員長・主事職・監事ら番外議員が出席予定。書記には石坂みどり司祭・大森明彦執事が。

主教施政演説につき諸委員常置委員選挙ほかが行われ、議案として、①07年度教区会計決算承認の件②東京教区施行規則変更の件③「エルサレム教区協働委員会」設置期間延長の件が挙げられている(17日現在)。

## 常置委員会報告(3月11日)

\*横浜教区主教葬儀、2月主教会、ランベス会議、大阪教区主教選挙(5月末の総会)、ナザレ修女会霊母選挙(順霊母)などにつき主教報告。

\*主教チャプレン、教務・宣教各主事による業務諸報告。

\*教区財務関連2月分、および各委員会予算実績についての財務主事報告および受理協議。

\*信徒奉事者(小金井・聖マルコ・聖愛3教会)08年4月〜09年3月)申請を受理。

\*その他

▽超教派「教会音楽祭(第29回)09年開催・聖公会担当」のためのテーマ賛美歌創作歌詞を公募 テーマは「わたしたちを

誘惑におちいらせずかえって悪からお救いください」。応募締め切りは本年4月末で、礼拝音楽委員会(委員長・宮崎光司祭)教区事務所)へ。詳細は各教会・礼拝堂宛配付の募集要項およびテーマ解説参照。

▽「新・あつい壁」上映会 東京教区信仰と生活委員会・同人権委員会・北関東教区宣教部主催。4月7日(月)19時、聖アンデレホール。参加費500円(当日会場)。らい予防法廃止10周年記念・文部科学省特別選定作品。中山節夫監督のハンセン病にかかわる差別と取組む「あつい壁(70年)」第2作(07年)で、昨年暮に公開されたばかりの熱いメッセージ。照会は教区宣教主事宛に。

## 【学びと働きから】72

## 管区女性デスクから

2006年5月に行われた日本聖公会第56(定期)総会で、「女性に関する課題の担当者」(略称・女性デスク)が管区に設置され、京都教区の木川田道子さんと筆者が担当することになった。

女性に関する課題といえは、家族や地域、子育てや職場、教育・保育・介護・医療、さらに環境や暴力の問題など、生活に根を下ろしたところからでなければ見えないことが多い。これらに焦点を当てて、基礎から立て直さなければならぬのが今の時代だとすると、教会の中でも、女性たちの視点や経験をよ

り大きく位置づける必要が出てくる。

一方、「セクハラや差別などを取り上げると、人間関係がギスギスしてしまうのでは…」という心配をする人もいる。しかし、現実の問題に目をふさぐとしたら、神の祝福を分かち合う共同体ではなくなってしまう。誰でもが安心して尊ばれる場を作るには、神の愛に根ざした信頼が基礎になければならない。

信仰的にも原点に立ち返ることが必要なのではないだろうか。聖書の読み方、教会的な組織のあり方、物事の進め方など、これまで当然とされてきたことも含めて、謙虚に学び直し、一人ひとりの人間の尊さを心から敬い合える関係を作るには、女

性・男性が共に変革されなければならない。

これまで、女性デスクとして、「聖公会女性会議」への協力、「すべてのハラスメントをなくすために」という各教区への提案、人権担当者との協力、研修プログラムの提供(教役者・信徒向け)、メーリングリストの設置などを行ってきた。日本聖公会総会や各教区会の代議員に、女性の比率を増やすよう働きかけることも大切な役割である。

中部教区で女性の司祭が最初に誕生したときから10年、それまでの長い道のりを覚え、さらに今後の課題をていねいに見据えて取り組んでいきたい。

司祭 山野 繁子  
(東京諸聖徒教会牧師)